



滅菌・殺菌・除菌・・・菌やウイルスの対処に、様々な用語が用いられますが、実際にどう違うのかご存知でしょうか？
今回の特集では、これらの用語についてご案内いたします。

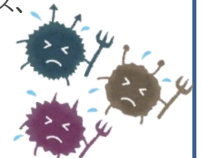


「菌」について

漢字の「菌」を訓を読みで「きのこ」と読むのをご存知でしょうか？
もともと「菌」はキノコを意味しました。

そして近代に「菌類」つまりキノコに似ていると考えられた生物の雑多なグループを指すようになりました。
代表的なものとしては、キノコ、カビ、酵母などの「真菌」があげられます。
さらに、後になって発見された微小な生物バクテリアにも「細菌」という単語が当てられるようになりました。
(結核菌、乳酸菌等)

日常生活においては、おおざっぱな意味合いで使われることも多く、病気の原因となる細菌やウイルス、食品に役立つ酵母菌など、まとめて「菌」と呼ばれることも少なくありません。



「微生物制御」

細菌やウイルスなどの微生物を死滅させたり、減少させたり、
増殖を抑えたりすることを「微生物制御」といいます。

滅菌や殺菌、消毒、除菌等の用語は、「微生物制御」に関する用語になりますが、日本薬局方の滅菌消毒法で定められているのは「滅菌」と「消毒」になります。

◎「滅菌」と「消毒」と「殺菌」の違い

「滅菌」は有害・無害を問わず、対象物に存在するすべての微生物を死滅させるか除去すること、「消毒」は対象物に存在している病原性のある微生物を、その対象物を使用しても害のない程度まで減らすことです。

一般的に「殺菌」という用語も多く使用されますが、「殺菌」は単に微生物を殺すことを意味し、殺す対象やその程度に規定がなく、極端な例をあげると、一割の微生物を殺して九割が残っている状態でも「殺菌した」ということが可能です。このため、その有効性に対する保証は厳密にはありません。

◎「除菌」と「抗菌」の違い

「除菌」は対象物から微生物を除いて減らすことです。微生物すべてが除去されると感じられがちですが、「消毒」とは異なりその程度に規定はありません。1万個の微生物を8000個除いても100個除いても同じく「除菌」となります。

「抗菌」は微生物の増殖を阻止することです。ただし、「滅菌・殺菌・消毒・静菌・除菌」等のすべてを意味することもあり、1万個の微生物をゼロにしても、半数にしても、増殖を阻止するだけでも「抗菌」と言えます。

感染予防など、微生物(菌やウイルス)に対処する場合には、「除菌」「抗菌」などの用語だけではなく、こういった効果があるのかを確認することが大切です。

●微生物制御 関連用語集●

<滅菌>

対象物に存在する、すべての微生物を殺滅するか、除去すること。

<消毒>

人に悪い影響を与えないレベルに微生物の数を減少させる。
特定の微生物を殺し感染を防止する。

<殺菌>

単に微生物を殺すこと。※規定の数値は無し

<除菌>

対象物から微生物を除去すること。※規定の数値は無し

<抗菌>

微生物の増殖を阻止すること。 ※既定の数値は無し
滅菌・消毒・殺菌・静菌・除菌などの意味も含めて使用される。

<静菌>

微生物の増殖を阻害あるいは抑制すること。

<制菌>

微生物を特定して増殖を阻害あるいは抑制すること。

防菌 ウェット ワイパー



新発売！
「第四級アンモニウム塩」を
対象物の表面に固定化できる
ようにした化合物（特許成分
Etak®）を配合

拭き取って、菌やウイルス、カビを除菌！
さらに
成分が対象物に固定化し、除菌効果が持続(防菌)！



暮らし生き活き
宇都宮製作株式会社

大阪 Tel 06-6748-8468
Fax 06-6748-8469

東京 Tel 03-5642-6220
Fax 03-5642-6221

[参考] 青木 卓(2007)
『よくわかる菌のはなし』
同文館出版
Web : Wikipedia